



目次

1. 後援のご案内

- (1) 東海畜産学会 2

2. 報告事項

- (1) 『第35回日本実験動物技術者協会東海支部総会』 3
参加者からの感想文 3
(2) 平成20年度 第4回役員会 5

3. その他

- (1) 事務局の移動について 5
(1) 年会費について 6
(2) HPのおしらせ 6



1. 後援のご案内

東海畜産学会 平成 21 年度シンポジウムのお知らせ

テーマ : 『医用動物としてのミニブタ利活用の新展開』
日時 : 2009 (平成 21) 年 7 月 10 日 (金) 13:30 ~ 17:00
会場 : ポートメッセなごや国際展示場交流センター第 7 会議室
交通 : JR 名古屋駅から臨海高速鉄道あおなみ線で金城ふ頭下車
後援 : 日本養豚学会・東海実験動物研究会・
日本実験動物技術者協会東海支部
参加費 : 無料

【プログラム】

- 第 1 部 座長 : 高坂 哲也 (静岡大学農学部)
13:35 ~ 14:15 医薬品・医療機器開発におけるミニブタの有用性
狩野 真由美先生
(株式会社日本バイオリサーチセンター)
14:15 ~ 14:55 疾患モデルブタの医学研究への応用
門松 健治先生 (名古屋大学大学院医学系研究科)
- 第 2 部 座長 : 桑原 康 (富士マイクラ株式会社)
15:10 ~ 15:50 ミニブタにおけるエネルギー要求量と
適正給餌量について
小牧 宏先生 (日本大学生物資源科学部)
15:50 ~ 16:30 ミニブタの育種繁殖に関する最近の話題
河原崎 達雄先生
(静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター)
16:30 ~ 17:00 総合討論 (司会 : 高坂 哲也・桑原 康)

東海支部では東海畜産学会の 21 年度シンポジウムを後援いたしております。
興味のある方はぜひご参加ください。
なお、お問い合わせは下記までお願いします。

問合せ先 : 静岡大学農学部 高坂 哲也 (東海畜産学会庶務幹事)
TEL : 054-238-4869 FAX : 054-238-4866
E-mail : t-kohsaka@agr.shizuoka.ac.jp

2. 報告事項

(1) 第35回日本実験動物技術者協会東海支部総会

日時：平成21年4月25日(土) 13:30~17:00
会場：名古屋大学医学部基礎医学研究棟1F会議室

添付資料の通り承認されました。



研究会 (14:10~17:00)

「特定環境物質について考える」

講演1

「実験動物施設の飼育室等におけるホルマリン消毒方法の現状とホルムアルデヒド法改正における対応」

松岡 宏先生 (メルシャンクリンテック(株))

講演2

「ホルムアルデヒド規制内容とその対策」

高橋 守雄先生 (サクラファインテックジャパン(株))

フリーディスカッション

大学および製薬企業等のホルマリンの扱いに関する問題点など

懇親会 (18:00~)

鶴舞駅前「居酒屋風彩」にて

多数の方に参加いただき、交流を深めることができました。

【参加者からの感想文】

総会および研究会に参加された方から、感想をいただきました。

日本実験動物技術者協会 東海支部総会ならびに研究会に参加して

株式会社カネカ フロンティアバイオ・メディカル研究所
生物研究グループ 和田 重太郎

昨年よりホルムアルデヒドに関する法規制が改正され対応に苦慮していたこともあり、東海支部主催の研究会に参加しました。自分の職場では施設のホルマリン燻蒸を実施することはありませんが、解剖時の臓器固定や病理組織標本作製に関して、頻度は少ないものの業務として実施していることから、法対応

に苦慮しておりました。講師の先生方の熱心な講義のみならず、自施設の状況や対応についての説明を聴くことが出来たことは、大変有意義であり、今後の対応に生かしていきたいと思えます。普段は関西支部主催の大会や研修会に参加することがほとんどですが、今回は初めて他支部の研究会に参加しました。ホルムアルデヒド対応の勉強のみでなく、旧知の方々を含め東海支部の方々と懇談でき、非常に有意義な時間を過ごすことができたと感じております。最後になりましたが、今回の支部総会ならびに研究会を運営された東海支部小木曾支部長始め、幹事の皆様方にお礼を申し上げます。私も関西支部の幹事を仰せつかっています。お隣の東海支部と共に（東海支部に負けないように）魅力ある実技協を目指し頑張っていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

平成 20 年度支部総会・研究会に参加して

愛知医科大学 動物実験センター
瀧田 恵美

特定化学物質等作業主任者として「ホルムアルデヒド」について勉強できるいい機会と思い、参加させていただきました。

今回はメルシャンクリンテック株式会社の松岡先生とサクラファインテックジャパン株式会社の高橋先生より、ホルムアルデヒドが昨年特定化学物質第 3 類から第 2 類に指定変更されたことによる私たち実験動物技術者の業務への影響をわかりやすくご説明いただきました。

さらにホルムアルデヒドの主な使用目的である「ホルマリン燻蒸」と「病理標本作成」についての実例報告と質疑応答もあり、実務上大変参考になりましたし、質問される皆さんの熱意にとっても触発されました。

実験動物の世界は規模こそ小さいものの、さまざまな法律に係る業務内容を含んでいます。現場では、それらに対応できずにいる、もしくは知らないままであることもしばしばです。そういった現状に、今回のような研究会は本当にありがたい情報提供・研修の場となっております。講師の皆様、企画運営してくださった役員の皆様へ感謝申し上げます。



松岡先生による説明



高橋先生による説明

第 35 回日本実験動物技術者協会東海支部総会に参加して

日本エスエルシー(株) 春野支所
横瀬 重雄

昨年の特化物法改正によりホルマリン使用に関して疑問が残っていた折、今回の総会での講演案内を見て参加させて頂きました。

総会は役員の方々のご苦勞を窺いつつも会費未納に注意しなくてはならないと思いつつ終了し、続いて行われた松岡先生・高橋先生の講演は大変判り易い内容でした。

特に一時使用におけるホルマリン薫蒸時での対応に明確ではない点がありましたが、先生方の講演を拝聴させて頂き、現在に於ける対応で法令違反になる様な点はない事が確認でき安堵する事ができました。

企業として法令遵守は責務ではありますが、解釈を間違えてしまう様な事が無いようにする為にも、今回の様な講演は大変貴重な機会となります。ありがとうございました。

(2) 平成 21 年度第 1 回東海支部役員会

日 時：平成 21 年 4 月 25 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 00

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟会議室

議 題：

- 1 . 支部総会・研究会について (当日午後の予定)
(平成 20 年度報告、決算、平成 21 年度計画案、予算案等々)
- 2 . 役員選出規約について
- 3 . 新役員について
- 4 . 21 年度事業計画について
- 5 . 東海畜産学会シンポジウム後援について

3 . その他

(1) 事務局の移動について

支部規約一部改訂により、本会の事務局を次に移動しました。

〒484-8506

愛知県犬山市大字犬山字官林 41 番地

国立大学法人 京都大学

霊長類研究所 人類進化モデル研究センター内

TEL 0568-63-0607

FAX 0568-62-9559

事務局長 前田 典彦



(2) 年会費について

本協会は会員の皆様の会費により運営されています。

年会費は、所定の振込用紙が本部機関誌「実験動物技術」No.1（毎年6月1日発行）に同封されていますので、本部事務局までお振り込み下さい。昨年度以前の会費が未納の方は、至急お振込みをお願いいたします。

年会費 : 6,000 円

振込先 名称 : 日本実験動物技術者協会

口座 : 00130-9-102291

取扱機関 : 落合郵便局

(3) HPについて

東海支部では、支部の活動やさまざまな情報をより早くお知らせするため、支部HPを活用しております。随時更新してまいりますので、ぜひ皆様もご覧ください。

また、ご意見、ご希望がありましたら東海支部事務局（担当：羽根田）までお知らせください。



Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOKAI branch

2009年 5月 No. 34

<発行者> 支部長 小木曾 昇

<発行所> 日本実験動物技術者協会東海支部

<編集> 事務局広報 羽根田 千江美

<事務局> 事務局長 前田 典彦

〒484-8506 愛知県犬山市大字犬山字官林 41 番地

国立大学法人 京都大学霊長類研究所

人類進化モデル研究センター内

TEL 0568-63-0607 FAX 0568-62-9559

e-mail: mailtokai@jaeat-tokai.org

HP: http://www.jaeat-tokai.org